

福井県

技能実習 福井県 ニュース

# 介護人材確保へ県が現地で育成 タイ人の技能実習生受け入れ式

NHK 福井 NEWS WEB  
2022/10/05



介護人材の確保につなげようと、タイで、県の研修を受けたタイ人の技能実習生が、県内の高齢者施設で働くことになり、5日、福井市で受け入れ式が行われた。介護人材が全国的に不足する中、県と県社会福祉協議会は、タイの財団と連携して、現地で日本語や介護技能を学んだタイ人を、技能実習生として受け入れる取り組みを2年前から始めていて、5日はこの取り組みで、初めて県内の高齢者施設で働くことになった技能実習生8人の受け入れ式が行われました。この中で、杉本知事は「皆さんが福井の人として一緒になって社会を担っていけるよう環境を整えたい」と激励した。

◆ <https://www3.nhk.or.jp/lnews/tukui/20221005/3050012663.html>

◆ 福井県のホームページ <https://www2.pref.fukui.lg.jp/press/view.php?cod=73fbD81664330345ba&whence=99>

別ニュースによる補足情報 <https://www.chunichi.co.jp/article/558240>

県と県社協は2020年、タイ人技能実習生を受け入れる窓口として、県社会福祉センター内に「ふくい外国人介護職員支援センター」を設立。監理業務に加え、現地の教育機関などと連携して研修を実施。タイ西部にあるバーンガオ高校では、日本語介護コースを新設してもらい、授業の一環で県などが実施する日本語や介護の研修を受けている。来年三月にタクシン大卒業生も含め十人が来県する予定。

# 地域外国人材受入れ・定着モデル事業実施報告書

パーソルキャリア株式会社(厚生労働省(外国人雇用対策課)委託事業) 令和5年3月

## 【福井県】共有すべき好事例

### 1 事業者

#### ①単純作業の労働者としてではなく、社員同様、生産管理業務を任せるための育成を実施

外国人の業務内容として多く見受けられる単純作業のみ従事させるような方針を取ることなく、日本人の正社員が担当する生産管理業務を任せていくための指導を実施しており、その一環として、外国人に正社員同様、朝礼を担当してもらい、当日生産数の目標報告や社員への声かけを実施したり、社員会議へ出席させるなど責任感を醸成できるような育成を実施。結果、外国人がパートへ指示を出す姿が見受けられるなど、自身の立場を自覚し、行動できるようになっている。

#### ②自衛消防隊消防操作法競技大会に教育担当者と一緒に参加して優勝

外国人の地域行事に参加したい意向を教育担当者が汲み取り、福井市で実施されている消防操作法の競技大会に教育担当者と外国人でペアを組んで参加。結果は見事、優勝することができ、外国人との関係性構築にも繋がった。

#### ③平日・土日祝関係なく、行事やイベントに外国人が参加希望がある場合、シフトは柔軟に調整

地域住民との関わりは積極的に持ってほしいという事業者意向から、外国人が地域行事やイベントへの参加を希望した場合、柔軟にシフトを調整し、参加できるように対応。結果、外国人も担当者とのコミュニケーションが増え、関係性は良好。

※地域児童との公民館での和菓子作り体験(2月参加)や、料理教室(3月参加)

### 2 地域/自治体連携

#### ①鯖江市/さばえ市民主役EXPO内で地域に住む外国人の文化紹介と交流を目的とした多国籍カフェを実施

外国人住民が1,000人を超え、さらに増加している鯖江市で、地域住民の外国人への認知を高めるため、地域に居住している外国人の協力を得て多国籍カフェを実施した。本事業の受入れ人材が携わったネパールブースには日本人・外国人合わせて214名(2日間)が来場し、アンケートでは、外国人の97%が「地域が好きになった」、日本人の95%が「今まで以上に外国人と交流しようと思った」という回答を得た。

※アンケート回答数: 91

#### ②福井市/地域公民館の行事(ペットボトルイルミネーション作り)を活用した国際交流と文化紹介を実施

外国人住民への認知については、毎年大規模イベントを実施することで進んでいるが、大規模イベントでは文化等の違いについての理解までは難しいため、小規模かつ地域に密接に結びついている公民館行事を活用し、イルミネーション作りとインドネシアの文化紹介を組み合わせることで交流を実施。アンケートでは、外国人住民に対して良い印象をもったという回答を多く得た。また、その後の継続的な交流にもつながっている。

地域外国人材受入れ・定着モデル事業では、令和2年度から令和4年度まで5つのモデル地域(北海道、群馬県、福井県、岐阜県、鹿児島県)において、外国人材の職場や地域への受入れ・定着を図り、事業を通じて得られた定着実績や効果的な支援内容等について、他の地方公共団体等に周知することを目的に実施した。モデル地域は、厚生労働省において都道府県を公募し、有識者による審査を経て、令和2年4月に5道県(北海道、群馬県、福井県、岐阜県、鹿児島県)を選定した。

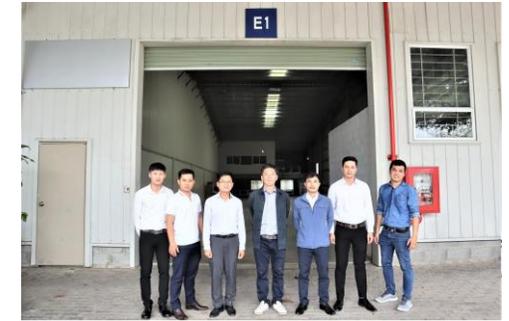
# 東南アジアNo.1が目標！ 酒井化学工業が初の海外拠点を2023年4月にベトナムに設立！

2023年4月27日 10時34分

産業用包装資材を主に製造・販売する酒井化学工業株式会社（福井県鯖江市、代表取締役：酒井清章）は、2023年4月ベトナム南部ロンアン省に現地法人「SAKAI MINA ASIA」を設立。酒井化学工業にとって初の海外拠点となる。

**酒井清章社長コメントより:** 新型コロナやロシアのウクライナ侵攻の影響もあり、日本国内の環境は非常に不透明で決して予断を許さない状況です。10年程前よりベトナムからの技能実習生を継続的に受け入れてきており、彼らはベトナムに帰ってからも酒井化学工業の仕事を委託先の企業で続けてくれました。今回、ベトナムに法人設立をするきっかけの一つとして、酒井化学工業で技能実習生として技能を学び、その後も酒井化学工業の経営哲学を学んだ信頼できる現地スタッフが育ってきたことが理由に挙げられます。今後は日本とベトナムの酒井化学グループ全従業員の物心両面の幸せを追及するとともに社会と環境に貢献していきたいと思っています。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000116763.html>





語る人

西野工務店 代表取締役社長

久池定光さん

HISAIKE Sadamitsu

2012年からラオスにて、JICA事業で建築技術者育成を担当。20年、現地法人「LaoNISHINO」を設立。国際協力、地方創生、ビジネスを結びつけ、持続性や多様性のある事業展開を行う。

日本の建築現場で実務を体験する研修員。道具の使い方から手入れ方法、図面の読み方など基礎からしっかり学ぶ。

- 頭打ちの需要や職人不足を解消するため、海外に活路を求めた福井県若狭町の建築会社。JICA事業をきっかけに、人材育成と働き手の確保を両立させ、現地での事業も進めている。
- ラオスでの海外事業をスタートさせたのは2012年。JICA中小企業海外展開支援事業などを利用し、ラオスで技術指導を開始。南部パクセーの職業訓練校にプレカット機械を導入し、これまで培ってきた木材加工技術の伝承に取り組んだ。

- 職業訓練校には日本から短期で職人を派遣するものの、環境の違いから思うように技術移転が進まずJICA草の根技術協力事業を活用し、パクセーの職業訓練校から研修員を招聘。2016年からの3年間で9名が西野工務店で実地研修を体験した。
- 記事内のコメントより：「まずは日本で仕事を体験してもらうことが大事だと感じました。建築の現場とはどういうところなのか、周りの人はどう働いているのか。それがわかれば身につけるスピードがまったく違うし、覚えていく中身の濃さも変わってくるはず。さらにリーダーとなる人材を育て、その人がラオスに戻り職人の卵に知見を伝える。つまり、技術だけでなく教え方も伝えていく。かつて大工の世界にあった師弟制度『年季明け』のような仕組みが、技術伝承の近道だと思いました」

47都道府県プロフィール  
2023年7月～2023年12月

# 福井県

# 【草の根技協・農園たや】 インドネシア人技能実習生受入れに役立つウェブサイトができました！

2023.07.18

インドネシアから技能実習生を受け入れている株式会社農園たや（福井県）は、昨年「JICA草の根技術協力事業」を活用して実習生の送り出し・受入れ環境の改善や実習生の帰国後のキャリア形成支援に取り組んでいます（「技能実習生の帰国後就農・起業支援を通じた人材還流促進プロジェクト」）。

プロジェクトの一環として、農園たやが長年の実習生受入れで得た知見・教訓をまとめたウェブサイト『サマサマ手帳』をリリースされました！インドネシア人技能実習生を受け入れている、もしくは受け入れを検討している農業事業者の方々にとって役に立つ情報が、具体的な事例と共に掲載



[【草の根技協・農園たや】インドネシア人技能実習生受入れに役立つウェブサイトができました！ | 日本での取り組みにJICA](#)

# 30キロ圏内 広域避難訓練

2023/10/22 05:00



避難訓練に参加する技能実習生ら（高浜町で）

## ■外国人も

高浜町では、町内の企業で働くフィリピン人の技能実習生18人も避難訓練に参加。勤務先から避難所となる町立高浜小まで歩いて経路を確かめた。校門付近に立てられた看板には、今回初めて取り入れた避難所を示す絵記号「ピクトグラム」が掲げられ、技能実習生の女性（35）は「絵や英語がかいてあると理解しやすい」と話していた。

訓練後、杉本知事は県高浜原子力防災センター（高浜町）で「住民へのアンケートなどを基に反省点を改善し、広域避難計画の改定も検討したい」と述べた。

<https://www.yomiuri.co.jp/local/fukui/news/20231021-OYTNT50059/>

読売新聞オンライン

2023  
10/13

## ネパール人技能実習生11名が入国 大阪・京都・福井の建設会社へ

■ ネパール技能実習生入国情報 | ネパール送出国機関ニュース | ワールドフェーバーお知らせ | © 2023年10月13日



<https://wfo-jp.com/>

今回も大所帯での入国となりました。  
この12名は神奈川県にある印刷会社様へ  
技能実習生として配属されます。  
いきなり都会での生活は戸惑うこともある  
と思いますが、いろいろな事を学んで  
日本での生活を楽しんでくださいね。も  
ちろん実習の方も、みんなで助け合いな  
がら  
頑張ってください！  
ネパールでは日本語学校で多くの候補生  
達が、入国に向けて日々日本語の勉強に  
勤しんでいますが、  
男性の出国が続いているので若干男女比  
率が変わってきているようです。前まで  
は半々ぐらいでしたが、



# World Favour Overseas

ネパール人技能実習生送出国機関・ワールドフェーバーオーバークーズ

思います

2024.2.27(火)～3.26(火)

出展企業5社によるWebセミナーも開催!



2023年10月26日

## 【お肉のコラム】 (55) 活躍する外国人技能実習生

| オピニオン | お肉のコラム

Twitter

Facebook

Line

Mail

人手不足のわが国の職場で、今や欠くことができないのが外国人技能実習生です。出入国管理統計によると、新型コロナ感染拡大前の2019年、新規に入国した技能実習生（第1号団体監理型技能実習に係るもの=1号口）は全職種で16万7000人でした。その後2年間は入国者ゼロの状態が長く続きましたが、昨年3月の入国再開に伴い数多くの技能実習生が入国しています。

さて、このところの円安で彼らの本国への仕送りが目減りしているそうです。世界中に働くところはいくらでもあるとも言われています。では、技能実習生の新規入国者は減っているのかというと、実はそうでもないのです。昨年の4月5月にそれぞれ3.5万人近い大量入国があったのを除いて、その後は毎月1万人から1.5万人前後が新規に入国していて、2019年と大差ない数字となっています。その中であって、お肉の関係では「牛豚食肉処理加工業職種」の「牛豚部分肉製造作業」が技能実習第3号まであり、技能評価試験の合格を前提に通算5年の在留が認められています。

先日私は、ベトナム国立農業大学の中にある「送り出し機関」で学ぶ技能実習候補生たちについて話を聞いてきました。彼らの将来の夢を尋ねたところ、「家畜の生産会社を経営したい」「食肉会社を起業したい」「日本食レストランを開きたい」という返事が返ってきました。そのため的手段として、他ならぬ日本に行って技能実習生として働きながら技能を身に着けたいということでした。食肉産業の近代化が期待されるベトナムで、将来彼らが活躍する姿が目に見えました。



公益社団法人全国食肉学校  
総合養成科第23期卒業  
専務理事学校長  
小原和仁

<https://www.agrinews.co.jp/opinion/index/191748>

特定技能 福井県 ニュース

## 企業の高度外国人材等の活用を総合的に支援します

令和4年9月15日

県では、海外進出や新分野への展開などに高度外国人材等を活用する企業に対し、新たに下記の制度により総合的に支援します。

つきましては、支援制度について、多くの県内企業に御周知くださいますようお願いいたします。  
なお、高度外国人材等とは、主に専門的・技術的分野に従事する外国人や特定技能外国人を指します。

## 【支援制度1】人材紹介・派遣会社とのマッチング支援

県が協定を締結している高度外国人材等の紹介（派遣）の実績が豊富な人材紹介・派遣会社と連携し、企業のニーズに沿った最適な人材とのマッチングを支援します。

- 1 対象 高度外国人材等の採用をお考えの県内に主たる事業所を置く事業者
- 2 申込期間 随時
- 3 問合せ先 FUKUI外国人材雇用サポートデスク（福井県人材確保支援センター内）  
福井市西木田2丁目8-1 福井商工会議所ビル1F  
TEL：0776-32-4560（直通）  
FAX：0776-32-4555  
Email: fukuiken@jinzai-kakuho.com

## 【支援制度2】外国人材の採用から定着までの一貫支援

高度外国人材等の活用を考える企業が抱えるそれぞれのお悩みを解決するため、外国人材の採用から採用後の職場定着まで、各企業のニーズに沿ったメニューを組み合わせ支援します。

支援メニュー例 外国人材の採用に関するコンサルティング  
（採用・選考方法、在留資格の手続き等）  
外国人材の生活立ち上げへの同行  
外国人材向けの中、上級レベルの日本語教室の実施  
外国人材向けビジネスマナー研修の実施 等

- 1 対象 高度外国人材等の採用をお考えの県内に主たる事業所を置く事業者  
（すでに外国人材を雇用している事業者であっても、今後さらなる採用を行う予定の場合はご利用いただけます。）
- 2 申込期間 令和4年9月15日から令和4年12月16日
- 3 問合せ先 福井県「ふくい雇用創出・定着支援事業」運営事務局（株式会社パソナ内）  
受付時間（月曜日～金曜日 9:00～17:30）  
TEL:080-3682-8401（担当：（株）パソナ 鶴飼）  
080-9440-9112（担当：（株）パソナ 谷田）  
Email:cukai@pasona.co.jp（担当：（株）パソナ 鶴飼）  
ntanida@pasona.co.jp（担当：（株）パソナ 谷田）

高度外国人材等とは、主に専門的・技術的分野に従事する外国人や**特定技能外国人**を指します。

【支援制度1】  
人材紹介・派遣会社とのマッチング支援

【支援制度2】  
外国人材の採用から定着までの一貫支援

→詳細は次のスライドへ

<https://www2.pref.fukui.lg.jp/press/view.php?cod=bdPe6516589919140a&whence=99>

# 【支援制度1】人材紹介・派遣会社とのマッチング支援

組織・部署から探す | サイトマップ サイト内検索  検索

暮らし・環境 医療・福祉 しごと・産業 観光・文化 教育・子育て 県政情報

ホーム > 組織一覧 > 労働政策課 ガイドナビを開く

いいね! 0 ツイートする

## 高度外国人材等と企業のマッチング支援について

最終更新日 2022年11月8日 | ページID 050768 印刷

### 高度外国人材等の採用を検討する企業と外国人材のマッチングを支援します。

高度外国人材等の受入れについて検討する企業（例 優秀な人材の採用が困難な中、高度外国人材等を採用したい。中長期的な海外展開を考えているため、高度外国人材等を採用したい。現在の海外事業を成長させるために、高度外国人材等を採用したい。等）に対し、県が連携協定を締結している高度外国人材等の紹介（派遣）の実績が豊富な人材紹介・派遣会社（6社）と連携し、企業のニーズに沿った最適な人材とのマッチングを支援します。

※高度外国人材等とは、主に専門的、技術的分野に従事する者や特定技能外国人を指します。技能実習生は該当しません。

- 1 支援対象企業：高度外国人材等の受入れをについて検討する県内に主たる事業所を置く事業者
- 2 県と連携協定締結している人材紹介・派遣会社
  1. 株式会社ジェイエーシーリクルートメント、
  2. 株式会社ジェイサット、
  3. 株式会社フォーバル
  4. 株式会社パソナ、
  5. 株式会社リード・エス、
  6. 株式会社リクルート

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/rousei/kigyoushien/gaikokuzinnzai.html>

# 【支援制度 2】 外国人材の採用から定着までの一貫支援

福井県 外国人材で企業に新しいチカラを

ふくい雇用創出・定着支援事業 ご利用 無料

New power for companies



外国人材に関するお悩みの1つ1つに対し、  
様々な支援メニューをご用意！

1つでも図があれば、ぜひご利用ください！

- 外国人材の採用を検討しているが、何から始めたらいいかわからず、専門家に相談したい
- 外国人社員との日本語でのコミュニケーションに不安や課題感がある
- 採用した外国人従業員に長く働いてほしい
- 外国人社員の育成にノウハウがなく困っている

専門家の派遣や各種研修等により、  
企業の外国人材の雇用・定着を総合的に支援します！

支援企業募集のお知らせ

募集期間	令和4年9月15日(木)～12月16日(金)
支援企業数	20社程度(ヒアリングを実施したうえで支援企業を決定します)
参加料	無料
申し込み・問い合わせ方法	ホームページの専用フォームよりお申し込み、お問い合わせください ・すでに外国人材を雇用している ・令和4年度に新たに外国人材を雇用をした、または雇用を予定している 福井県に主たる事業所を有する企業 (技能実習生のみ、パート・アルバイトのみの場合は本事業の対象とはなりません)

お申し込み・お問合せはコチラから



支援システム詳細

支援メニューをポイント内で組み合わせ！

25P 付与

- ①制度・必要な手続等の説明・相談
- ②社内体制・規定・必要書類の整備
- ③住居、銀行、携帯電話等の契約等支援企業社員への同行
- ④外国人社員に対するメンター派遣
- ⑤ビジネスマナー教室の実施
- ⑥異文化コミュニケーション研修の実施
- ⑦中級・上級レベルのビジネス日本語教室の実施
- ⑧企業主催の地域住民との交流イベント等の実施
- ⑨日本人社員向け「伝わる日本語研修」
- ⑩外国人材採用時のビジネス日本語力のレベルチェック

⑤ビジネスマナー教室の実施  
⑦中級・上級レベルのビジネス日本語教室の実施

支援メニューのポイント制度

支援企業1社ごとに25Pが付与され、  
自社の課題に応じて組み合わせたい支援メニューを選択いただけます。

支援内容	実施方法	回数/時間	使用ポイント
①制度・必要な手続等の説明・相談	対面	1回/60分	7P
	オンライン		4P
②社内体制・規定・必要書類の整備	対面	1回/60分	7P
	オンライン		4P
③住居、銀行、携帯電話等の契約等支援企業社員への同行	対面	1回/半日	15P
		1回/1日	20P
④外国人社員に対するメンター派遣	対面	2回/1時間	6P
	オンライン	4回/30分	4P
⑤ビジネスマナー教室の実施	オンライン	1回/2時間	5P
⑥異文化コミュニケーション研修の実施	オンライン	1回/2時間	5P
⑦中級・上級レベルのビジネス日本語教室の実施	オンライン	1回/1時間	1P/人 ※別途初期費用 2P/人
⑧企業主催の地域住民との交流イベント等の実施		支援内容により異なる	7P～20P
⑨日本人社員向け「伝わる日本語研修」	オンライン	1回/2.5時間	5P
⑩外国人材採用時のビジネス日本語力のレベルチェック	オンライン	1回/2時間	3P

支援の流れ

STEP1 初回ヒアリング  
コーディネーターが貴社の課題や要望を詳しく伺います。採用や育成に関するご相談にもご対応します。

STEP2 支援メニューのご提案  
貴社の課題にこたえる最適な支援メニューをご提案します。複数の選択肢からお選びいただけます。

STEP3 支援日程の調整  
決定した支援メニューの実施日を調整します。貴社のご都合に合わせて実施します。

STEP4 支援の開始  
外国人材採用・育成の専門家による支援を実施します。メニューの変更も可能です。

お申し込み・お問い合わせ・支援メニューの詳細内容はこちらまで

本事業は、株式会社ハソナが福井県より委託し運営しています。

福井県「ふくい雇用創出・定着支援事業」運営事務局

TEL 080-3682-8401(福岡) 080-9440-9112(石田) [月～金 9:00～17:30] URL <https://fukui-globalsupport.com>



# 【ご報告】 インド人材セミナーの開催について 公益財団法人国際人材協力機構（JITCO）

2022年12月21日



（主催者挨拶を行う、駐日インド大使 シビ・ジョージ閣下）

- 在日インド大使館とJITCOは、在日インド大使館において、インド技能開発起業促進省（MSDE）及びインド技能開発公社（NSDC）の後援により、「技能実習制度及び特定技能制度に係るインド人材セミナー」を開催した。  
会場およびオンライン配信のハイブリッド方式で、合計約100名が参加した。
- はじめに、シビ・ジョージ駐日インド大使閣下から挨拶が行われ、今回のセミナー出席者に対する謝意と、今後日印両国間の人材交流・協力の更なる発展への期待感が示され、その後以下の内容で講演が行われた。

**送出機関 NAVIS社長の講演**

**◆福井県の施設で、本年6月から、15人の特定技能外国人（介護）が働いている。**

<https://www.jitco.or.jp/ja/news/article/23426/>

# 北陸新幹線が来れば移住者増加、福井県内で探る共生の道 池田町の七か条は「ミスマッチ防ぎたかった」

福井新聞 2023/3/1

- 自然豊かな福井県福井市美山地区の中手町集落には、移住者がコンスタントにやってくる。
- 同県の越前町漁協は人手不足を背景に、09年頃から外国人技能実習生の受け入れを始めた。現在、インドネシアを中心に75人が働く。「外国人は漁を支える欠かせない戦力」と漁協担当者。多くは3年間の実習期間終了後も働き続けられる新たな在留資格「特定技能」に移行している。
- 外国人は越前地区内の空き家だった民家で暮らしている。「騒がしい」「コンビニでたむろしていて怖い」。当初は近隣住民から不安の声が出た。日本の若者とのけんかもあった。
- 住民との交流は徐々に増え、毎年恒例の祭りでは地元の男衆とみこしを担ぎ、喝采を浴びた。3年前には漁港で溺れていたワカメ採りの高齢者をインドネシア人4人がロープで防波堤に引き上げ、近くの病院に連れて行き、県警鯖江署から感謝状を受けた。同漁協の山本こずえ課長は「今も不満の声はなくならないが、住民は少しずつ外国人を受け入れ始めている」と話す。